

# BM-EA21-2004 -初期環境活動レポート

～初期環境レビューの実施と環境経営システムの構築～

事業所名及び代表者氏名	株式会社 ブリッジ・メタウェア 代表取締役 佐倉井 章
所在地	横浜市戸塚区品濃町548-2 東戸塚NSビル4F
環境管理責任者	
氏名	佐倉井 章
担当者連絡先	bm-ea21@bridgemw.co.jp



## 目次

No	項目名	
1.	初期環境レビュー結果と取組み課題	P3
2.	環境方針	P4
3.	環境目標と主要な環境活動計画の内容	P4
4.	実施体制及び運用	P5

### 改訂履歴 (作成・改訂の責任者:環境管理責任者)

No	改訂日	改訂者	改訂項目	改訂概要(理由・内容)
1.	2004/07/12	佐倉井	全項目	新規作成



# 1. 初期環境レビュー結果と取組み課題

新規に環境経営システム(環境管理システム)を導入するにあたり、環境省が策定したエコアクション21(2004年版)の各ガイドラインに基づき、自己チェックを行い、初期環境レビューを実施しました。

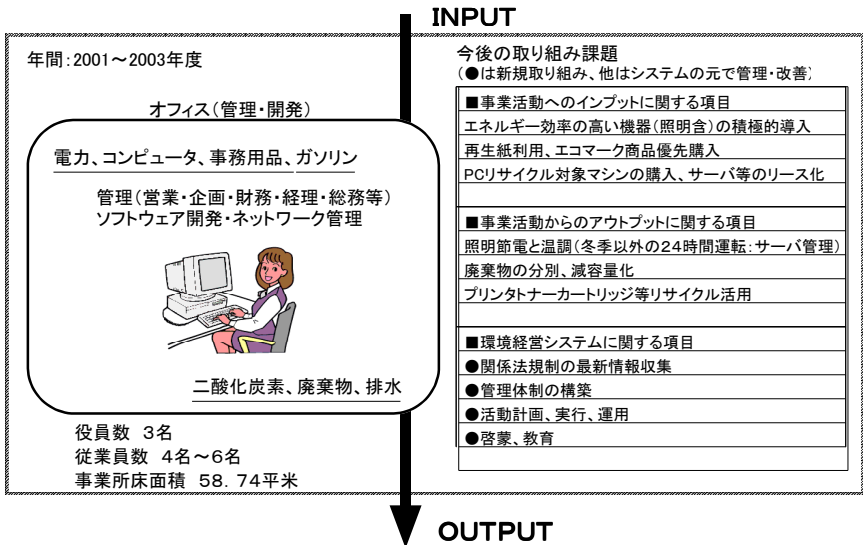
注) 初期環境レビュー段階では、購入電力量とガソリン給油量以外の数値情報は実測値や観測値として存在しませんでした。このため、投入量や廃棄物の排出量は、PPC用紙の購入実績状況等から投入の重量や廃棄の重量推定を行いました。また、総排水量に関しても、ビル側共有設備の弊社事業所での使用状況からの推定値を採用しています。

年間: 2001~2003年度平均

総エネルギー投入量		
購入電力	263.71	KMJ
ガソリン給油	20.33	KMJ

総物質投入量		
資源投入(廃棄:紙、プラ、厨芥)	426	Kg
循環資源投入(廃棄:カン・ビン)	84	Kg
その他(コンピュータ及び備品)	33	Kg

水資源投入量		
対象外		



年間: 2001~2003年度平均

廃棄物等総排出量・最終処分廃棄物量		
再生利用(カン・ビン)	84	Kg
焼却(紙・プラ・厨芥)	426	Kg
産業廃棄物(コンピュータ及び備品)	50	Kg

温室効果ガス排出量(二酸化炭素)		
二酸化炭素	11.82	t-CO2

総排水量		
下水道	2880	L
BOD	0.95	Kg

化学物質排出量・移動量		
対象外		

総製品生産量又は総製品販売量		
対象外		

## 2. 環境方針

弊社の事業活動内容及び初期環境レビュー結果から、環境負荷低減項目を、■省エネルギー、■省資源、■廃棄物の分別、削減 に定め以下の環境基本方針を作成しました。

### BM-EA21環境基本方針

株式会社 ブリッジ・メタウェアは、「問題、ニーズから本質的な解決、サービスを「メタウェア」として創造提供すること。」という企業理念と行動指針をもとに、地球環境の保全に関して自主的かつ積極的な取り組みを行います。

- 1.環境管理体制  
環境担当役員を代表取締役とし、環境管理の責任と権限を明確にして、環境保全活動を推進します。
- 2.法規制の遵守  
国や地方自治体等の環境規制を遵守するとともに、自主管理基準を定めて、環境保全に努めます。
- 3.環境負荷の低減  
事業活動において、省エネルギー、省資源、廃棄物の分別、削減の目標設定と定期的見直しをおこない、継続的な管理と改善に努めます。
  - 1) 省エネルギー
    - 使用電力の情報収集を毎月行い、継続的な管理と改善に取り組みます。  
コンピュータサーバ等の動作維持に必要な電気消費量は、その動作維持条件(台数、室温、湿度など)の見直し、照明を含めた節電や使用機器のエネルギー効率改善を含めた対策で取り組みます。
  - 2) 省資源
    - 事務用品等の購入明細の情報収集を毎月行い、継続的な管理と改善に取り組みます。  
エコマーク商品の優先購入、特にパソコンの購入においてはPCRリサイクル等のリサイクル対応商品を対象とします。
  - 3) 廃棄物の分別、削減
    - 規定した分別廃棄の実施と廃棄時の減容量化に取り組みます。
    - 分別種類毎に廃棄量(概算の容量及び重量)の情報収集を毎月行い、継続的な管理と改善に取り組みます。
- 4.教育訓練  
毎月1回の定例会議での環境情報の提供により、環境保全に向けた全従業員の意識高揚を図ります。
- 5.社会との共生  
事業活動の場の提供元との環境保全活動に協力します。
- 6.環境基本方針の公開  
このBM-EA21環境基本方針は、社内外に公開します。

2004年6月末日 株)ブリッジ・メタウェア 代表取締役 佐倉井 章

## 3. 環境目標と主要な環境活動計画の内容

初期環境レビューで算出した値と2004年度事業計画を基に、まず、環境目標を定め、それら目標のうち、数値目標の達成においては、管理用数値等情報の継続収集が可能な項目を中心として活動計画としました。

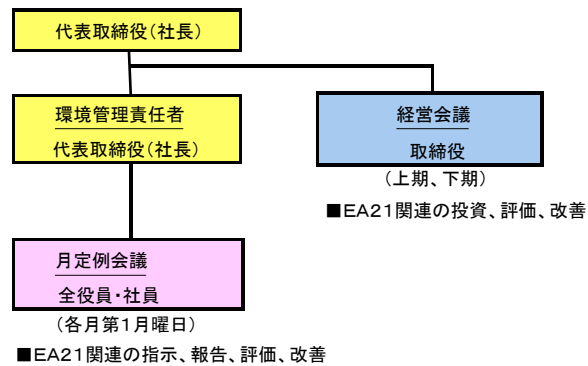
環境目標及び環境活動計画	
<b>環境目標</b>	
	<b>単年度(2004年度)</b>
<b>目標</b>	環境経営システムの導入を行い初期環境レビュー(2001-2003年度最大値または平均値)を上限に管理・改善を実施する
<b>&lt;二酸化炭素排出量&gt;</b>	使用電力の管理、節電 13.23 t-CO2(2001-2003年度最大値) <電力> 292.61KMJ(2001-2003年度最大値) <ガソリン> 26.38KMJ(2001-2003年度最大値)
<b>&lt;廃棄物排出量&gt;</b>	分別の徹底、産業廃棄物の管理 カン・ビン:84Kg(2001-2003年度平均値) 紙・プラ・厨芥:426Kg(2001-2003年度平均値)
<b>&lt;総排水量&gt;</b>	台所合成洗剤の低減、節水
	<b>中期(2005~2007年度)</b>
<b>目標</b>	環境経営システム見直しにより、2004年度管理実績を元に各項目の事業活動規模比で前年度10%削減を図る
<b>環境活動計画</b>	
<b>期限</b>	~2004/7E
<b>担当</b>	代表取締役
<b>活動項目</b>	EA21の自社導入(BM-EA21)
<b>達成手段</b>	エコアクション21(環境活動評価プログラム)2004年版の活用
<b>期限</b>	~2005/2E
<b>担当</b>	環境管理責任者
<b>活動項目</b>	初期環境レビュー値から目標を設定し管理・改善を実施する
<b>達成手段</b>	管理情報の収集と対策・手段
1) 省エネルギー	■使用電力の情報収集を毎月行う コンピュータサーバ等の動作維持に必要な電気消費量は、その動作維持条件(台数、室温、湿度など)の見直し、照明を含めた節電や使用機器のエネルギー効率改善を含めた対策を行う
2) 省資源	■事務用品等の購入明細の情報収集を毎月行う エコマーク商品の優先購入、特にパソコンの購入においてはPCRリサイクル等のリサイクル対応商品を対象とする
3) 廃棄物の分別、削減	■規定した分別廃棄の実施と廃棄時の減容量化を行う ■分別種類毎に廃棄量(概算の容量および重量)の情報収集を毎月行う

## 4. 実施体制及び運用

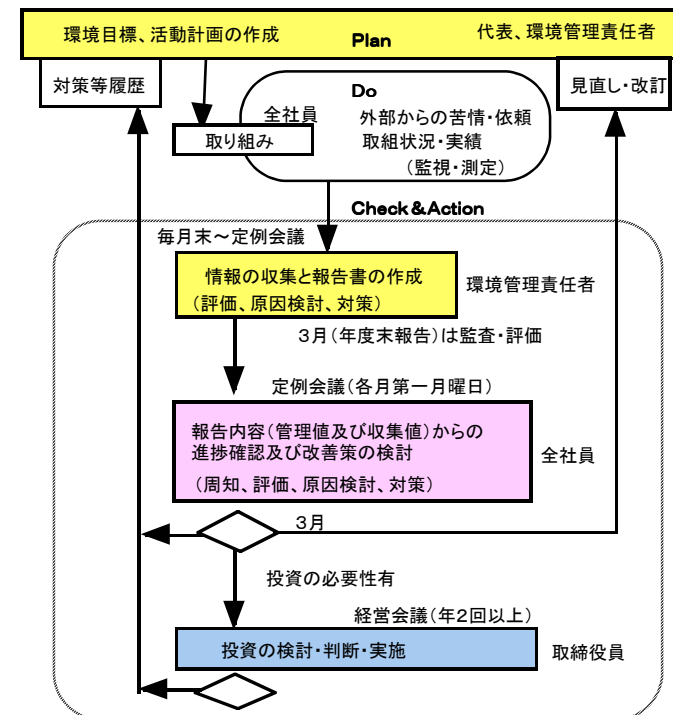
実施体制及び運用においては、全社員(役員含)が行う取組みと外部から苦情・依頼の対処を  
 <計画(Plan)、評価・改善(Check&Action)> にて対応できる形態として、現状の事業管理体制と運用をそのまま活用することとしました。

必要文書の作成や記録は、エコアクション21のガイドラインに従って準備し、  
 それらを含めた運用の効率化(手順化等含)について順次工夫・改善を行うものとします。

以下に実施体制と運用(実施体制による取組み状況の確認及び問題の是正) を図示します。



BM-EA21実施体制



BM-EA21の運用  
 (実施体制による取組み状況の確認及び問題の是正)